# 新学習指導要領と求められる授業改善

千葉商科大学准教授　近藤　真唯

## 主体的・対話的で深い学びと授業改善

2018年に新たな高等学校学習指導要領が告示され，商業科教育における新たな学びに向けた取り組みが，いよいよ本格化する。今回の新学習指導要領ではさまざまな方針が出されているが，その一つである「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善は，商業科教員にとっても大きな関心事である。

新学習指導要領における教科商業科の内容については，現行同様に20科目で構成されており，基礎的科目，総合的科目および4分野に位置付けられている。（図1を参照。）これらを学ぶ生徒の学びの質を高めるためには，「何ができるようになるのか」（育成を目指す資質・能力），「何を学ぶのか」（学習内容），「どのように学ぶのか」（学習過程）を設定する必要がある。特に，資質・能力の3つの柱である「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力，人間性等」を育成するためには，特定の指導方法・形態等を取り入れるというわけではなく，「主体的な学び」（生徒が学びに興味・関心を持ち，次の学びにつなげること），「対話的な学び」（他者の考えと交流しながら自身の考えを深める学び），「深い学び」（教科商業科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる学び）の3つの視点を，単元等のまとまりの中で実現していくことが求められている。

## 授業改善における研修の必要性

新学習指導要領の理念等を実現するため，これからの教員は「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る必要性に迫られているが，その一方で学校現場は「教員の多忙化」という課題に直面しており，教材研究などに多くの時間を費やせない状況にある。この状況下で授業改善を図るためには，一つとして「教員研修の充実」が不可欠であり，特に研修内容と授業での指導内容が直結し，生徒に対して迅速に還元できる研修が求められていると考えられる。これを踏まえ，今回は商業科教員の指導力向上を目的とした研修として，独立行政法人教職員支援機構が主催する「産業・情報技術等指導者養成研修（商業：C-1）」をご紹介する。

同研修は，授業改善の実践事例，教科商業科の指導内容・指導方法及び商業科教育の充実に関するディスカッションなどを通して，指導力を高めることを目指し，毎年夏季に実施される研修で，2018年度は7月30日（月）～8月3日（金）の5日間の日程で，千葉商科大学（千葉県市川市）にて開催された。「授業改善」を柱に据え，「新高等学校学習

**図1　新学習指導要領における科目および分野等**
**（色付きが本研修で取り扱った科目）**

| | 科目 | 分野等 | |
|---|---|---|---|
| 1 | ビジネス基礎 | 基礎的科目 | 分野共通の科目 |
| 2 | ビジネス・コミュニケーション | | |
| 3 | 課題研究 | 総合的科目 | |
| 4 | 総合実践 | | |
| 5 | マーケティング | マーケティング分野 | |
| 6 | 商品開発と流通 | | |
| 7 | 観光ビジネス | | |
| 8 | ビジネス・マネジメント | マネジメント分野 | |
| 9 | グローバル経済 | | |
| 10 | ビジネス法規 | | |
| 11 | 簿記 | 会計分野 | |
| 12 | 財務会計Ⅰ | | |
| 13 | 財務会計Ⅱ | | |
| 14 | 原価計算 | | |
| 15 | 管理会計 | | |
| 16 | 情報処理 | ビジネス情報分野 | |
| 17 | ソフトウェア活用 | | |
| 18 | プログラミング | | |
| 19 | ネットワーク活用 | | |
| 20 | ネットワーク管理 | | |

出典：文部科学省「高等学校学習指導要領解説　商業編」2018年7月
（Web版p.18「分野構成」図を参考に筆者が作成）

指導要領を踏まえた教科『商業』における授業改善に関する講義と実習」をテーマに，実施内容及び実施形式を構成した。研修内容は，テーマに記載の通り，［講義＋実習］の形式で構成されており，受講者は講師の授業を生徒の立場で体験するとともに，その授業の指導計画やそれを作成する際の留意事項等のレクチャーを受けた上で新たな授業づくりを実践する研修になっている（図２を参照）。講師には，全国の商業高校等において各分野の先進的な授業実践をされている先生をお招きし，高度な専門性に裏打ちされた，「主体的・対話的で深い学び」を意識した講義を展開していただいた。

研修後に実施したアンケート結果から，受講者のほぼ全員が有意義な研修であったと回答しており（大変有意義だった：92.1%，おおむね有意義だった：7.9%，実数 39 名，うち無回答１名），高い満足度を得たことがわかる。特に各分野の授業改善に関する講義・実習に対する高評価意見として，生徒目線で授業を体験できたこと，各科目の具体的な授業展開例や評価方法，教材作成方法を学べたことなどが挙げられていることから，勤務校での授業づくりにおいて活用しやすい，生徒に還元しやすい研修内容であったと推察できる。

以上から，本研修の内容を多くの方に共有していただきたく，講師の先生のご協力を得て，マネジメント分野「ビジネス・マネジメント」，マーケティング分野「商品開発と流通」の学習事例をご報告いただく。これを契機に，教員研修活性化の機運が高まることを願うばかりである。

**図２　2018 年度産業・情報技術等指導者養成研修実施内容**

【講義】
○高等学校学習指導要領の改訂と教育課程の編成について
○商業教育の課題
【講義＋実習】
○新学習指導要領を踏まえた分野共通の科目の授業改善
○新学習指導要領を踏まえたマーケティング分野の授業改善
○新学習指導要領を踏まえたマネジメント分野の授業改善
○新学習指導要領を踏まえた会計分野の授業改善
○新学習指導要領を踏まえたビジネス情報分野の授業改善
【実習】
○主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善
・ファシリテーション能力の育成
・ワークショップデザイン
○新学習指導要領を踏まえた授業改善をすすめるために
（授業作成およびパネルディスカッション）

**写真（上）「ファシリテーション能力の育成」講義風景**
**写真（中）作成した授業事例のパネルディスカッション風景**
**写真（下）受講者グループが作成した授業事例**


**参考文献**

・文部科学省「高等学校学習指導要領」, http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2018/07/11/1384661_6_1_2.pdf, 2018 年 3 月 , 最終閲覧日：2019 年 1 月 11 日
・文部科学省「高等学校学習指導要領解説 商業編」, http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2018/07/13/1407073_15.pdf, 2018 年 7 月 , 最終閲覧日：2019 年 1 月 11 日
・中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」, http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/__icsFiles/afieldfile/2017/01/10/1380902_0.pdf, 2016 年 12 月 , 最終閲覧日：2019 年 1 月 11 日
・文部科学省「教員勤務実態調査（平成 28 年度）」, http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/09/1409224.htm, 2018 年 9 月 , 最終閲覧日：2019 年 1 月 11 日
・独立行政法人教職員支援機構， http://www.nits.go.jp, 最終閲覧日：2019 年 1 月 11 日